

各位

デンカ株式会社  
株式会社デンカリノテック

## 構造物診断技術による文化財保全事業への取り組み



「醍醐寺 三宝院唐門（正面写真）」

デンカ株式会社（本社：東京都中央区、社長：山本学、以下「デンカ」）及びデンカのグループ会社である株式会社デンカリノテック（本社：東京都中央区 社長：横山豊樹、以下「リノテック」）は、リノテックのコンクリート構造物の診断技術を活用し、世界文化遺産 京都 醍醐寺（所在：京都府京都市伏見区、HP：<https://www.daigoji.or.jp/>）に於ける文化財保全事業にKYOTO'S 3D STUDIO 株式会社（本社：京都府京都市左京区、社長：西村和也、HP：<http://k3s.jp/>）を通じて参画しております。

本取り組みは、2019年9月1日～7日に国立京都国際会館に於いて開催される第25回国際博物館会議京都大会（<https://icom-kyoto-2019.org/jp/index.html>）の醍醐寺ブースにてご紹介いたします。

リノテックの本診断技術は360度全方向へのレーザースキャニングにより、文化財等での構造点群データを取得し、そのデータ情報を元に設計・施工から維持管理を行うもので、図面や設計図がない構造物にも適用することができます。

加えて、損傷状況や修復履歴等の維持管理情報を三次元構造物モデルに関連付けしたBIM/CIM\*1に応用し、立体的な資料として効率的に一元管理することが可能です。

さらに今後は、こうした3Dデジタル計測技術を、デンカが創業以来培ってきた無機材料設計・補修材料・施工技術と組み合わせることで、種々ある文化財の内、歴史的価値の高いコンクリート構造物の効率的な長寿命化・高耐久化等にも取り組んでまいります。

デンカグループは経営計画「Denka Value-Up」のもと、「基盤事業のスペシャリティー化」を進めております。後世に伝え続けていかねばならない文化財保全事業の一翼を担うべく最先端の高付加価値インフラソリューションを提供し、SDGs（持続的な開発目標）のひとつである「住み続けられるまちづくり」の実現に貢献してまいります。

【本発表に関するお問い合わせ先】

デンカ株式会社 CSR・広報室 電話 03-5290-5511

【本事業に関するお問い合わせ先】

デンカリノテック株式会社 調査診断・設計部 電話 03-5290-5362

※株式会社デンカリノテックについて

(2019年4月1日現在)

本社	〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5-11 ユニゾ日本橋本町1丁目ビル 6F
資本金	5,000万円（デンカ株式会社100%出資）
代表取締役社長	横山 豊樹
従業員数	32名
設立	2001年7月4日
事業内容	1.コンクリート建造物の調査・診断及び補修・補強 設計コンサルタント 2.コンクリート建造物の補修・補強技術に特化した工事 3.コンクリート建造物の補修・補強工事に使用する特殊材料販売 4.上記に付帯する事業
ホームページ	<a href="http://www.denka-renotec.co.jp/index.html">http://www.denka-renotec.co.jp/index.html</a>

\*1 BIM/ CIM (Building/Construction Information Modeling / Management) とは

BIMは主に建築分野において、3次元の形状情報に加え、面積、材料・部材の仕様・性能、仕上げ等、建築物の属性情報を併せ持つ建物情報モデルを構築することを意味し、CIMは主に土木工事において、計画、調査、設計段階から3次元モデルを導入し、その後の施工、維持管理の各段階においても3次元モデルに連携・発展させ、一連の建設生産システムの効率化・高度化を図ることを意味します。

こうした建築分野の「BIM」、土木分野の「CIM」といった概念を国際標準化等の動向に呼応し、地形や構造物等の3次元化全体を「BIM/CIM」として改め、名称を整理したものです。

以上